

2018年度 大学入試センター試験（本試験）分析と学習のアドバイス

科目： 地理 B

◆全体概況

大問数・解答数	大問数：6題 解答数：35問
難易度	やや易化
分量	昨年並み

◆大問別分析

大問	出題分野・テーマ等	配点	分析
第1問	世界の自然環境と自然災害	17	例年通り世界地図で自然環境の特色と分布を問う問題であるが、気候の成因等は直接的に問われることはなかった。
第2問	資源と産業	17	資源と産業について満遍なく出題されていた。見慣れない統計等もあったが、冷静に図表を読み取ればそれほど難しくはない。
第3問	生活文化と都市	17	問1のヨーロッパの数か国についての主要な宗教や、宗派別人口割合が問われた問題については、多少難しく感じた受験生も多かっただろう。
第4問	西アジアとその周辺地域の地誌	17	西アジアとその周辺地域の地形、農業、宗教、民族などについてバランスよく出題されている。西アジア諸国の特色をしっかりと掴めていないと厳しい問題。
第5問	北欧3か国の比較地誌	14	ノルウェー、スウェーデン、フィンランドの類似点や相違点を問うた問題。宿題レポートという形式やアニメを取り上げている内容は新しいものである。
第6問	岐阜県高山市の地域調査	18	岐阜県高山市に関する様々な資料から基本的な内容が出題された。会話文などの資料の読み取りに時間がかかるが、難易度は易しい。